

カフェ・売店等の事業概要 (案)

令和4年11月

厚木市 市街地整備課

はじめに

このカフェ・売店等の事業概要（案）は、事業者へのサウンディング型市場調査を円滑に行うことを目的として、令和4年9月に完了した厚木市複合施設基本設計（以下「基本設計」という。）における検討項目や考え方を整理したものです。

なお、本資料は、サウンディング型市場調査の参考資料として扱うものであり、カフェ・売店等の業務内容を確定するものではありません。

1 複合施設の概要

(1) 複合施設建設予定地の特徴

ア 中心市街地の核

本市は、昼夜間人口比率が119.9%（国勢調査（令和2（2020）年））と県内19市では最も高く、昼間は、夜間（約22.4万人）と比べ約3.4万人多い約26.8万人の人口を抱えています。また、小田急小田原線本厚木駅は、乗降客数が約10.2万人／日（小田急電鉄株式会社発表（令和3（2021）年度））であり、小田急線全70駅のうち7番目に多く、乗換えのない関東大手私鉄の鉄道駅の中では最も多い駅となっています。

このような特徴を持つ本厚木駅東口に隣接する複合施設の建設予定地は、小田急線や相模川からの視認性が高く、市内外から多くの人々が通勤や通学で訪れる本市の中心市街地の核となる区域です。

イ 交通アクセス性

建設予定地の西側に隣接する厚木バスセンターは、地下で本厚木駅前東口地下道により本厚木駅と接続されており、市内全域を結ぶ公共交通として約1.7万人／日（厚木市調査（平成26（2014）年））が利用しています。また、建設予定地の北側には、本厚木駅周辺では最大の駐車場である中町立体駐車場が整備されています。建設予定地周辺は、鉄道、バス、自動車など、様々な交通手段により容易なアクセスが可能な区域であり、本市の重要な交通結節点となっています。

ウ 拠点性

建設予定地の周辺には、保健福祉センターや厚木シティプラザに加え、商業施設である厚木ガーデンシティビルが立地しています。また、隣接地には、あつぎ市民交流プラザ、子育て支援センター及び商業施設からなるアミューあつぎが立地しています。このように、市民生活を支える充実した公共・民間施設が集積する高い拠点性を有しています。



(2) 複合施設の基本理念

複合施設は、図書館、（仮称）未来館及び市庁舎を始め、消防本部や国県の行政機関等の機能をもって構成します。多様な人々が集まり交流が生まれる可能性を持った場所となることから、複合施設整備の基本理念は、人々が日々の課題を乗り越え、未来を創造していく、あらゆる世代の皆様にとっての居場所となることを目指し、次のように定めています。

複合施設整備の基本理念
いきいきと生きる日々、すてきな時間を過ごすことができるサードプレイスを目指して
「いい日々、いい時間。」

(3) 複合施設の基本方針

基本理念を踏まえた複合施設が目指す具体的な方向を示すものとして、次のとおり、基本方針を定めています。

複合施設整備の基本方針

- (1) 誰もが訪れやすく、一人一人に合わせたサービスを提供する施設
- (2) あらゆる世代の皆様にとっての居場所や気付きの場となる施設
- (3) 複合化によるメリットをいかし、絶え間ない交流、活動が生まれる施設
- (4) 将来変化に柔軟に対応し、長きにわたり利用することができる施設
- (5) 中心市街地のシンボルとして誇りと愛着を感じることができる施設

(4) 建物概要

ア 複合施設

用 途：図書館、未来館、市庁舎、国県の行政機関

建築面積：約 5,500 m²

延床面積：約 46,800 m²

高 さ：約 43m

階 数：地下 1 階、地上 9 階

構 造：鉄骨造、免震構造

イ 駐輪・受水槽棟

用 途：駐輪場（約 120 台）

建築面積：約 175 m²

延床面積：約 350 m²

高 さ：約 9m

階 数：地上 2 階

構 造：鉄筋コンクリート造

ウ 新立体駐車場

用 途：駐車場（自動車約 240 台、自転車約 100 台）

建築面積：約 1,300 m²

延床面積：約 7,600 m²

高 さ：約 22m

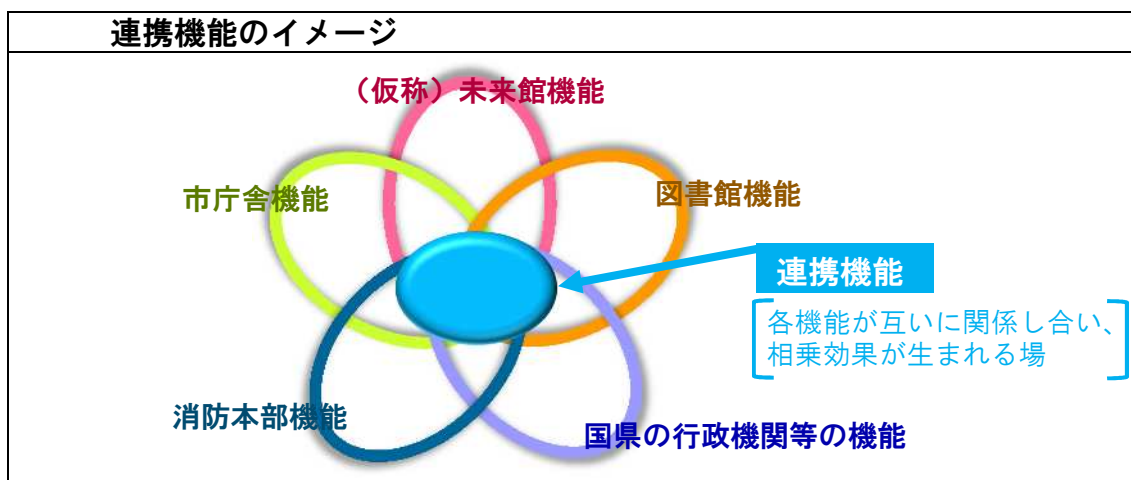
階 数：地下 1 階、地上 7 階

構 造：鉄骨造



(5) 連携機能

複合施設は、図書館、(仮称)未来館、市庁舎を始め、消防本部や国県の行政機関等が互いに関係し合い、複合による相乗効果を生み出していくための連携機能を備えた施設を計画しています。連携機能は、多種多様な目的をもって訪れる幅広い世代の利用者の皆様をワンストップで受け止めるとともに、各機能がそれぞれの役割を円滑に発揮することができるよう、案内・相談、情報収集、情報発信を総合的に統括する機能を持つものとしします。また、図書館機能、(仮称)未来館機能とともに、交流機能の充実を図ることにより、周辺施設にも好影響を与える恒常的にぎわいを創出する機能を目指します。



(6) 対象施設

ア カフェ・売店

場 所：1階西側エントランス付近

規 模：約175㎡(約53坪)

座席数：屋内約60席、屋外デッキ約20席

概 要：滞在型施設として飲食のみの提供にとどまらず、連携機能として交流の場となる役割をもつ。

課 題：厨房設備の仕様、収益性

イ 有料席

場 所：1階南側

規 模：約108㎡(約33坪)

座席数：約40席

概 要：テレワークなど落ち着いて利用できる有料席、図書館の席数として確保する。

課 題：図書館の予約席との差別化、収益性

ウ 市民ロビー（自販機、飲食コーナほか）

場 所：8階西側

規 模：約176 m²（約53坪）

座席数：未定

概 要：展望ロビーとして市民利用スペースとして活用

課 題：管理手法

(7) 予定開館時間

ア 市庁舎窓口

平 日：8時30分から17時15分

土 曜 日：8時30分から12時00分

閉 庁 日：原則、日曜、祝日及び年末年始

イ 図書館、未来館

月～土曜日：9時00分から21時00分

日曜・祝日：9時00分から19時00分

休 館 日：原則、月1回及び年末年始

ウ 広場的スペース

月～土曜日：8時30分から21時30分

日曜・祝日：9時00分から21時30分

休 館 日：原則、月1回及び年末年始

(8) 来館者数の想定

2,352,260人/年（5,876人/日）

【参考データ】

- ・ 現中央図書館の利用者数

貸出者数 330,732人/年 平日来館者約 1,680人/日 休日来館者数 2,030人/日

- ・ 現こども科学館の利用者数

展示ホール来館者数 平日約 100人/日 休日約 270人/日

- ・ 現本庁舎・第二庁舎の利用者数

平日約 8,000人/日 土曜約 340人/日

(9) 今後の予定

令和5年度 : 実施設計

令和6年度～令和8年度 : 本体工事

令和9年度 : 展示内装工事、移転、供用開始